

本校の学校教育目標 「考える生活者の育成」	【本年度の重点目標】 (1) 学校経営 小規模特認校としての教育活動の特色化と地域との連携による信頼される学校づくり (2) 教育指導 学力向上を目指す少人数授業の究明と学びの自立の確立
------------------------------	--

[4:大変良い 3:よい 2:あまりよくない 1:よくない]

領域	観点	評価指標	自己評価	学校関係者評価	学校関係者評価を踏まえた改善策			
組織・運営	教育目標の周知と協働体制	学校教育目標や重点目標を意識して目的意識をもって取り組んだか。	3. 1	2. 9	・学校教育目標については、PTA役員会や学級懇談会等でも、繰り返して説明していただくことによって、学校のやろうとしていることが、保護者に理解される。さらにより良い学校となるように、啓発をしっかりと行ってほしい。 ・計画に沿って学習ができていくようで、良いと思う。 ・地域と共に行う体験活動によって、子ども達が、生き生きと育っていることは喜ばしいことである。今後とも熊ヶ畑小の特色として、継続していつてもらいたい。	・機会をとらえて、保護者や児童に教育目標や、重点課題について繰り返し話をし、各活動と共通理解に努める。 ・地域の期待に応えるためにも、協働体制をさらに構築し、地域の中の学校として、地域の教育力をさらに高めたい。		
		児童・保護者は教育目標及び重点目標を理解しているか。	2. 6					
		主たる担当の校務分掌で、早めに提案し積極的にリーダーシップをとることができたか。	2. 9					
		日常の教育活動を積極的にサポートし協働体制を維持したか。	3. 1					
		学校行事や各部業務について評価・改善を行い文書等の管理・保管を適切に行ったか。	2. 9					
		時間厳守で担任会に参加し積極的に学年・学級経営を行ったか。	2. 9					
	教育課程の実施	週案を活用して、授業時数の確保ができたか。	3. 0	2. 9			・計画に沿って学習ができていくようで、良いと思う。 ・地域と共に行う体験活動によって、子ども達が、生き生きと育っていることは喜ばしいことである。今後とも熊ヶ畑小の特色として、継続していつてもらいたい。	・週案の確実な提出と活用により、教育課程を確実に実施する。 ・漢字力を身に付けさせるために、粘り強く指導する。 ・地域の教育力に頼りすぎることなく、主体的に学ばせるように、「めあて」をしっかりと立てさせる。
		教科等の指導内容は、計画通りに実施できたか。	3. 0					
		児童の学習状況を定期的に評価し保護者に伝えたか。	3. 2					
		計画的に道徳の時間を実施し、発問を工夫して価値項目を意識した授業を行ったか。	3. 0					
		体験活動は「めあて」を明確にし、児童自ら意欲を持って主体的に学ぶ学習活動になったか。	2. 8					
		既習の漢字や計算力を身に付けさせることができたか。	2. 8					
ICTを活用した授業を積極的に推進したか。	2. 5							
		課題意識の連続、確実な自己評価、考える場や考えを書く場、考えを深める場を確保する授業を実践したか。	2. 6		・学力の結果から見て、もう少し高い評価でよいのではないか。自 ・作文の力をつけさせるために書く活動を充実させる。			

学 力 向 上	学力向上を 目指す授業 づくり	プランニングシートの活用や「熊小授業の進め方」を徹底し、児童に学び方が身についたか。	2. 5	2. 8	信をもって評価してよい。 ・全学年、全教科共に平均以上の学力がついていることは、先生方の並々ならぬ努力の成果であり、素晴らしいことである。継続して頑張ってもらいたい。	・プランニングシートを活用した授業を計画的に進める。 ・丁寧な文字の定着のための家庭学習（評価の工夫）を進める。 ・児童の学力の定着に応じた個別の支援を充実させる。
		丁寧な文字指導（ノート指導、作文指導、ひらがなや漢字の指導等）を行い、児童に身についたか。	2. 4			
		単元末に発展問題や個別の課題問題を行い、活用力を育成したか。	3. 0			
		個に応じた指導や補充学習に生かすために毎時間の個別の見取りを確実に行ったか。	3. 2			
		週1回以上、算数や漢字のミニテストを行ったか。	2. 5			
学ぶ意欲・ 規範意識の 醸成	学習規律の確立ができたか。（チャイム・聞き方・発表の仕方・姿勢・忘れ物0）	2. 6	2. 7	・忘れ物をしない習慣をしっかりとつけさせてください。 ・あいさつが良くできている。体験活動の時も、1年生が反省をしっかりとしゃべることができていて、感心する。基本的な姿勢を身につけさせてください。	・「忘れ物0」になるように、朝の会、帰りの会を通して意識付けを行う。 ・チェック表や賞状などで称賛して、チャイム席や「忘れ物0」を徹底させる。 ・学習規律について、「学びの準備体操」を理解させて指導する。	
	あいさつ、言葉遣い、後片付け、学校の約束を徹底し、児童の規範意識を醸成したか。	2. 8				
	学習意欲を高め、育ちを実感する体験活動を行い、学習活動の積み重ねを確実に行ったか。（キャリアノート、アクティブカードの活用）	2. 7				
学力の基礎 を培う活動	家庭学習定着率95%以上を達成し、学年に応じた週末課題や自主学習を定着させたか。	2. 4	2. 7	・宿題の点検ややり直し指導が細やかに行われている。少人数での手厚い教育である。このような教育ができる本校をぜひ継続させてもらいたい。 ・読書は心の宝物となるので、たくさん本を読むように継続して指導してください。	・家庭学習の大切さをしっかりと理解させ、実行させる。 ・書き直し、やり直しを徹底させるために、根気強く取り組む。 ・保護者にもしっかりと理解させるために機会をとらえて話をする。 ・読書を積極的に推進するために、学級で本の紹介をする。	
	家庭学習を丁寧に見取り、書き直しややり直しを徹底したか。	3. 0				
	朝活動、昼チャレンジ、補充タイム、学期末定着週間を計画的に実施し、個別の定着度を確認しながら、「未定着0」を達成したか。	3. 2				
	読書活動を質的量的に高めたか。（めざせ〇〇冊・〇〇ページ、おすすめの本、家庭読書）	2. 3				
授業力向上 職員研修	授業評価（「日々の授業を見直そう」）を活用し、授業改善を行ったか。	2. 8	2. 8	・成績にも表れているように、先生方が良く努力をして授業をされている。子どもが楽しそうにしている姿を見ることができる。	・児童の伸びにつながる発問や評価を工夫する授業改善を目指す。 ・各テストの結果から見えた児童の課題を授業に生かす。	
	少人数授業の工夫の実践や板書・ノート指導・発問や評価【見取り】の工夫等）について積極的に研鑽し授業改善に努めたか。	2. 6				
	全国学力・学習状況調査・NRT学力検査等の結果を分析し、個別指導や授業改善に努めたか。	3. 0				
家庭・	通信やHPを通して、保護者・地域に情報を発信したか。	3. 0		・ケーブルテレビで放送される	・保護者コメントを学級通信等で	

	地域との連携	保護者・地域の方々からの意見や願いを収集し、授業改善に活かすことができたか。	3. 0	2. 6	のが楽しみである。通信も楽しみにしている人が多く、児童の様子がよくわかる。	呼びかける。 ・「自学カード」の啓発を通信やPTAの会議などで行う。 ・通信を通して信頼関係を築く。
		保護者コメント90%以上を達成できたか。	1. 8			
体力向上		体力向上プランに沿った指導を行ったか。(1校1取組、コーディネーショントレーニング)	2. 5	2. 4	・「早寝・早起き・朝ごはん・少メディア」は、保護者がもっとしっかりと子どもに教育しなければならない。家庭と学校とが連携して、体力の向上を進める必要がある。	・「早寝・早起き・朝ごはん・少メディア」の日常化を進めなければならない。 ・毎朝の徒歩登校の推奨を来年度から実施する。
		「早寝・早起き・朝ごはん・少メディア」の取り組みを推進する手立てを講じたか	2. 8			
		外遊び等を奨励し、体力アップシートを活用して児童の体力向上を図ったか。	2. 0			
豊かな心		自ら範を示し、日常の挨拶や返事、丁寧な言葉遣いについて指導し、好ましい人間関係が構築されたか。また、規範意識が醸成されたか。	2. 9	3. 0	・縦割りの活動で、5・6年生を見習って、低学年の子どもも育っているように感じる。 ・思いやり深い優しい心を育ててもらいたい。	・「わたしたちの道徳」を活用して、道徳教育の充実を図る。 ・あいさつや返事がはっきりとできるような指導を徹底する。 ・全校いいとこみつけをさらに推進する。
		目標の明確な学校行事や縦割り活動を実施し、思いやりの心や社会性、勤労意欲が育ったか。	3. 0			
		道徳の時間において「わたしたちの道徳」を活用するなど道徳の時間の充実を図ったか。	3. 0			
主題研修等		課題対応能力を育成する授業実践を行い、主題研究を深化させたか。	3. 2	3. 1	・複式の学級での授業の工夫について、良くされていると思う。	・課題をもとにした授業改善を行い主題研究を充実させる。 ・研修で学んだことを授業に生かす。
		積極的な校外研修への参加や文献による資料収集を行い日常の教育活動に生かしたか。	3. 2			
		自らの実践を振り返り、成果と課題を明らかにするために授業実践をまとめているか。	2. 8			
環境構成等		児童の安全確保・安全管理に努め、緊急対応マニュアルを熟知し、実働できるようにしているか。	2. 9	3. 0	・児童と職員が力を合わせた清掃活動や栽培活動は、熊小の教育文化の一つとなっている。 ・花壇もよく手入れがされており、年一回のPTA愛校作業も定着し、環境美化を支えている。	・子どもの状況を見逃さず、即時即場の対応に努める。 ・いじめアンケートを継続して実施し、いじめの早期発見に努める。結果について交流し、共通理解を図る。 ・掲示物を計画的に張替える。 ・児童の食環境の向上ができていないので、給食指導を通して、継続し、保護者の啓発を通して食環境の向上の理解を深める。
		いじめ対応・不登校対応・問題行動の早期発見・早期対応に努め、協働体制を維持しているか。	3. 3			
		教室や廊下の掲示物や作品には、学習の振り返りや達成感、発展を促す工夫を行ったか。	2. 7			
		花壇の栽培活動や校舎の掃除活動等を通して、落ち着いた美しい環境作りができたか。	3. 3			
		給食指導をはじめ、食育について十分に推進し、児童の食環境の向上に努めたか。	2. 9			

総合所見

本年度も、地域の皆様方のご支援をいただき、様々な本物体験活動を実施することができた。そのたびに子どもたちは、地域の方々とふれあいを持ち、話をさせていただいたり、ほめていただいたりしながら、感謝をする心が少しずつ身についてきているように思える。また、児童同士が協力し合う心や互いを思いやる心、高学年のリーダーシップ、低学年の高学年へのあこがれの心など、自尊感情や規範意識が高まり、望ましい人間関係を築く活動ができた。評価委員の方々からは、先生たちが良く頑張っていて、子ども達が笑顔で頑張っている様子が伝わり、子ども達が素直に伸び伸びと成長できているというありがたい評価をいただいた。本校の特徴をさらに伸ばし、地域で育つ学校としてさらに充実した教育活動を実践していきたい。

学力向上について、「めあて→見通し→一人学び→友達学び→まとめ→振り返り→次時確認」を行う『熊小授業の進め方』を徹底して行い、国語科複式授業については、校内研究を中核にして授業改善を進めてきた。また、学力の基盤づくりとして、補充学習（朝チャレンジ・昼チャレンジ・補充タイム）では、各テストの分析による弱点克服問題の繰り返し実施、家庭学習におけるやり直しの徹底を行った。

3学期に行った、CRT検査結果では、本年1年間の努力の結果が実り、全学年全教科において全国平均を上回る成績を収めることができた。さらに、3段階評定で評価2の児童は3年生1名、5年生1名であり、あとはすべて評価3の成績であり、評価1の児童は1名もいなかった。このことも、評価委員の方々より、称賛とねぎらいのお言葉をいただくことができた。さらに継続発展させるための、個に応じた実践を

	国語	算数	社会	理科
1年	109	115		
2年	104	117		
3年	106	113	101	109
4年				
5年	110	128	117	112
6年	124	143	137	127
全校	111	123	118	116

【平成28年度CRT検査結果】

追及していかねばならないところである。
規範意識の醸成に向けては、あいさつと返事は一定の成果を上げてはいるものの、自主性や相手を意識するというレベルには達していない。「立ち止まったあいさつ」「心に届く返事」の徹底を来年度は図りたい。

全般的な意見として、「評価項目が多すぎて、細かすぎて、先生方が窮屈に感じているのではないのかも」という心配の声が出された。「先生たちがもっと伸び伸びと活動ができて、「できた」「良かった」という評価がたくさんできるような項目にした方が良い。」というご指摘を受けたので、改善を図る。

今後とも、地域の教育力のご支援、ご協力に感謝し、子どものためにさらにより良い学校を目指して、自己研鑽を重ね、教師力・実践的教育力を高めると共に、豊かで温かく厳しい人間力を磨き、教職員が1枚岩となり、教育活動に邁進していく所存です。